

## 美原記念病院ブレインバンクからの年次報告(2020年度)

### Annual reports from Mihara Memorial Hospital Brain Bank (FY 2018)

田野 光敏<sup>1)</sup> 井上 拓也<sup>1)</sup> 布施 葵<sup>1)</sup> 佐藤 菜津美<sup>1)</sup> 諏訪部 桂<sup>1)</sup>

高橋 陽子<sup>1)</sup> 赤津 裕康<sup>3)</sup> 村山 繁雄<sup>4)</sup> 美原 盤<sup>1)</sup> 美原 恵里<sup>2)</sup>

美原 樹<sup>1)</sup> 高尾 昌樹<sup>1)5)</sup>

1)公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院

2)公益財団法人脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース

3)福祉村病院 神経病理研究所

4)東京都健康長寿医療センター 高齢者ブレインバンク

5)国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部

[目的]日本神経科学ブレインバンクネットワークを構成する美原記念病院ブレインバンクにおける2020年度末までの現状を報告する。

[方法]当施設は2007年からブレインバンクを整備し、日本神経科学ブレインバンクネットワーク1施設として、剖検、その後組織診断できる体制を確立し、症例を蓄積してきた。右脳と脊髄の一部、必要に応じて一般組織を-80℃で保管し、分子生物学的解析、研究のため保存している。他施設からの剖検依頼や標本作製、診断依頼も受け入れる体制とした。

[結果]現在、298例(2020年11月末)の凍結試料を有している。最も多い疾患はプリオン病で凍結試料が72例あり、臨床診断、入院受け入れ、剖検、組織診断まで対応をしており依頼剖検も多い。次に多いのは筋萎縮性側索硬化症の40例。続いて脳梗塞27例、脳出血24例、アルツハイマー型認知症22例、レビー小体型認知症16例、神経原線維変化型認知症15例、多系統萎縮10例、パーキンソン病8例、脊髄小脳変性症6例、進行性核上麻痺6例、大脳皮質基底核変性症3例、その他の神経変性疾患4例、110歳以上の超百寿者18例、その他の症例が27例であった。標本作製・診断依頼は17件であった。

剖検依頼に関しては、プリオン病剖検が困難な施設、臨床的にプリオン病も念頭におかれ剖検ができないケースや、剖検施設がない療養型病院や老人ホームにおいても、事前同意されている場合は各施設と連絡をとり、当院で患者搬送を行い剖検している。

[結語]研究者へのブレインバンク試料提供に伴い、凍結脳以外の試料提供に関する相

談が多くなってきている。今後、研究協力のため、要望にできる範囲で応えられるように体制を整える事が重要である。